

ちとせ会 ニュースレター

～山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会～

はじめに

ちとせ会では、会員相互の情報交流を促進するために、ニュースレターを発刊しております。この第12号では、昨年催された第13回総会、ならびにそれに先立つ特別講演の模様をお伝えいたします。今回は本学 作業療法学科 助教 木内 真美子先生と卒業生 大嶋 貴子さんからご講演いただきました。

第13回山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会「ちとせ会」総会 (平成29年10月21日開催)

1. 特別講演 木内 真美子 先生

「対象の主体性・目標達成を促すコミュニケーション ～コーチングスキル～」

コミュニケーションは仕事柄私達は特に重視するものではないでしょうか？だからこそ誰でも一度は対象者とのコミュニケーションについて悩んだことがあると思います。今回は人の性格を4つに分け、それぞれに対しての接し方を教わりました。対象者に限らず、職場の上司、後輩、学生など職場に限らず様々な場所で活かせることが盛りだくさんな内容でした。

2. 卒業生有志による施設紹介 大学4期卒業 大嶋 貴子さん

「老健における作業療法士の役割」

これからは今まで以上に地域で包括的に対象者をサポートする必要があります。今回の講演ではその必要性と地域における作業療法士の役割を再認識できました。また、今回参加した学生からは、勉強になったとの声が多数聞かれました。

3. 総会

総会での審議結果

- ・ 2017年度会計報告、ならびに2018年度予算案が承認された。
- ・ 事業計画として、今後も定期的に総会を開いていくことが提案され、承認された。

参加者感想

第13回同窓会に参加した同窓生に書いていただいた感想文の一部を紹介します。

- OTの仕事の他に学生さんを指導する役割がある中で、コーチングについて改めて考えることができ、どのような考え方が必要か、関わり方について考えさせられました。
- 大嶋先生の講義では、リハ室でのOTだけではなく、生活場면을共有できるOTの実践がなされていることが素晴らしいと思いました。
- 今老健に実習に行っていることもあり、とても分かりやすい内容でした。それぞれの施設での違いを知ることができて、今後の就職先を決めていく中で参考になりました。



○編集後記○

今回のちとせ会も知識盛りだくさんの内容となりました。役員会では毎年より良い会にできるよう努めております。様々なツールで情報発信できるよう調整中です。今後ともよろしくお願ひします。